

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	駿河台大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	スルガダイダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップ I
	学部・研究科等名	全学部(法・経済経営・メディア情報・現代文化・心理)
	担当教職員名・役職	嶋田節男・客員教授、松平光徳・法学部准教授、野崎謙二・経済経営学部教授、岡部建次・メディア情報学部教授、小林奈穂美・現代文化学部准教授、佐古年穂・心理学部教授、永作稔・心理学部准教授
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	98
	受入企業等数	101
	受入企業等名	http://www.surugadai.ac.jp/career/internship/pdf/internship_2016.pdf
	インターンシップの分類	4.他県をまたぐ広域インターンシップ.5.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ.7.中小企業でのインターンシップ.8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ.9.その他
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	キャリア教育としてのインターンシップ	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事.2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	主に地元の企業や地方公共団体を実習先として、5日～14日間の就業体験を行う。実習先には、学生が職業選択をする際に有用な職業観、仕事意識を涵養できるような就業体験を依頼している。補助的な仕事を与える際には、その仕事が組織全体の仕事の中で占める役割についても教えていただき、消費・利用者の一員として若い世代の学生のセンス、感覚を問うような仕事も与えていただいている。また、一部実習先では課題を与え、その成果を発表させる等のプログラムを実習の中に組み込んでいいる。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している.6.当該インターンシップは、選択科目として実施している.9.その他
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	この科目は事前研修(4月～7月)、インターンシップ実習(8月～9月:休業期間中)、事後研修(9月～10月)の3部から構成される。
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次～3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	4単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	春学期に11回の事前研修(準備の講義)を行い、実際に社会で活躍している民間企業・自治体の方々から、働くことの意味、職業倫理、ビジネスマナー等を学ぶ。夏期休暇中に2週間程度、企業・団体の一員となって実際に働く体験をする。実習後から秋学期初めにおいて、事後研修として報告書を提出し、担当教員による報告書の添削指導を受ける。また、リハーサルを含む担当教員の指導を受けた上で、受入企業の方にもお越しいただく公開の報告会において自らの就業体験を発表する。	
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている.2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている.4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている.2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	企業・団体が活躍されている方々を特別講師に迎え、実体験に基づいた講義を通じて「働くことの意味・心構え」「ビジネスマナー」等を考える機会を提供。この授業を履修した卒業生を講師に迎え、質問コーナー等も設けている。講義後は毎回レポートを提出する。学外の方の協力も得て実習先決定のための相談会を実施し、実習先が決定した後は、受入企業の方を授業にお招きし、実習学生と打ち合わせを行う。

	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	実習後に報告書(1200字以上)を提出し、体験を「自分の言葉」で捉え直して、実習での学びをより確かなものとする。報告書は教員から添削指導を受け、公開の発表会に向けて、プレゼンの指導、リハーサルを行う。参加してくださった受入企業の方にコメントをいただき、教員・学生同志で互いのプレゼンを評価し、優秀な発表者には表彰を行う。これにより、実習での学びをより確かなものとするとともに、プレゼンテーション能力の伸長を図る。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ実習期間中に、授業担当教員もしくは実習生のゼミ担当教員が企業に赴き、実習の様子を確認し、実習生と面談を行う。受入企業の方にも実習内容の確認や実習生の様子、課題や要望等を確認し、意思疎通を図っている。実習先への訪問後、教員は報告書を作成し、その内容は授業担当教員で共有し、次年度に活かしている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている。4.その他
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	「キャリア意識アンケート」を実施している。また、ポートフォリオを作成し、自らの成長を確認できるようにしている。
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	授業開始時と最終の報告会の後に「キャリア意識アンケート」を行い、就業力・意識の変化を確認している。ポートフォリオSCIP(Sundai Community Internship Portfolio)を作成し、事前研修や実習を振り返り、「成長の歩み」を確認できるようにしている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5～14日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前研修は11回、インターンシップ実習期間は夏期休業期間中に、企業の受入事情によって5日～14日以内で行い、事後研修は3回となっている。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している。4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実習先は産学連携協定を締結している企業から、多数の企業を紹介していただいている。事前研修では、企業の方に特別講師として講義をご担当いただき、実習生との顔合わせもしていただく。実習中は、学生の書いた実習日誌にコメントをいただき、総評していただく。事後研修においても、公開の実習報告発表会や懇親会に参加していただく等、企業と協働してインターンシップ実習の成果を上げている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://www.surugadai.ac.jp/ebook/23/
問い合わせ先	大学等名	駿河台大学
	担当部署名	学務企画部地域連携課
	担当者役職名	副課長
	担当者氏名	内田よしみ
	電話番号	042-972-1181
	メールアドレス	tiiki@surugadai.ac.jp